

議案第77号

指定管理者の指定について

下記のとおり指定管理者を指定したいので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第6項の規定により議会の議決を求める。

令和7年11月25日提出

南房総市長 石 井 裕

記

1 公の施設の名称

南房総市富山畜産ふれあい牧場

2 指定管理者となる団体の名称

千葉県みるく農業協同組合

3 指定管理者となる団体の所在地

千葉県木更津市牛袋231番地

4 指定の期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

議案第 77 号 指定管理者の指定について

農林水産部 農林水産課

1 指定管理者に行わせる施設の概要

施設名 南房総市富山畜産ふれあい牧場

(1) 設置条例	南房総市富山畜産ふれあい牧場の設置及び管理に関する条例
(2) 設置目的	畜産振興のため、飼養管理の預託を受け、良好な育成管理を行い、その生産性の向上及び安定した畜産経営を推進するため設置する。
(3) 施設の事業内容	乳用牛の受託育成
(4) 現在の管理形態	指定管理

2 指定管理者に行わせる業務

- (1) 牧場の維持管理に関する業務
- (2) 牧場の運営に関する業務
- (3) 牧場の使用の許可に関する業務
- (4) 牧場内行為の許可に関する業務
- (5) 牧場の使用料の徴収に関する業務
- (6) その他牧場の設置の目的を達成するため指定管理者が必要と認める業務

3 指定管理候補者の概要

(1) 名 称	千葉県みるく農業協同組合
(2) 所 在 地	千葉県木更津市牛袋 2 3 1 番地
(3) 代 表 者 名	代表理事組合長 奥野 政義
(4) 設立年月日	平成 2 6 年 4 月 1 日
(5) 出 資 金 額	2 5 3, 0 7 4 千円
(6) 組 合 員 数	正組合員 1 1 1 名 准組合員 1 3 名 (令和 7 年 8 月末時点)
(7) 事 業 概 要	① 酪農業の経営及び技術向上に関する指導 ② 資金の貸付 ③ 物資の供給

	<ul style="list-style-type: none"> ④ 共同利用施設の設置 ⑤ 酪農作業の共同化その他農業労働の効率の増進に関する施設 ⑥ 酪農業に供される土地の造成、改良若しくは管理 ⑦ 委託を受けて行う酪農業の経営の事業 ⑧ 地域農業の維持のために担い手が不足する農地等を利用して行う農業の経営 ⑨ 地域農業の維持のために担い手が不足する農業用施設を利用して行う農業の経営 ⑩ 物資の運搬、加工、保管又は販売 ⑪ 農村工業に関する施設 ⑫ 農村の生活及び文化の改善に関する施設 ⑬ 組合員の経済的地位の改善のためにする団体協約の締結 ⑭ 前各号の事業に附帯する事業
--	--

4 指定管理候補者が示した事業計画の概要

<p>(1) 管理運営の基本方針</p>	<p>(1) 南房総市富山畜産ふれあい牧場の現状に対する考え方</p> <p>ふれあい牧場は預託育成牧場として管内基幹産業の畜産経営の安定のため、乳用牛育成を主として酪農家に利用されています。</p> <p>預託する子牛は健康状態に異常がないことを原則として受け入れ、繁殖管理を徹底し、適期で受胎させ最良の状態に仕上げ下牧させ、酪農家の後継牛対策に貢献します。</p> <p>(2) 南房総市富山畜産ふれあい牧場の将来の展望又は有効な利活用について</p> <p>ふれあい牧場の管理運営にあたり、施設の設置目的や管理運営方針を理解した上で、親しみ安い施設として利用できるように利用者の拡大を図ります。</p> <p>市内酪農家が減少する中、安定的運営を図るため利用者の範囲を近隣地域酪農家及び千葉県みるく農業協同組合員としています。</p>
<p>(2) 施設の管理運営</p>	<p>(1) 住民の平等な利用の確保</p> <p>預託者会議等により、関係者や関係機関と情報交換をしやすい環境づくりを目指します。また、預託牛状況報告書を作成し、預託者に発送することにより農家と現場職員間の情報共有に努めます。</p> <p>(2) 利用者の増加を図るための方策</p> <p>広報紙やチラシ等を通して広報活動を行い、利用者の増加を図ります。</p> <p>(3) 施設の維持管理計画</p> <p>① 定期的に施設・設備の保守点検</p> <p>② 施設の日常の清掃</p> <p>③ 警備・防火管理・衛生管理等の徹底</p> <p>以上の内容を実施することにより、常に良好な状態を保ちます。</p> <p>また、施設保全の観点から、補修や改良が必要な場合は、南房総市と協議の上、積極的な維持補修を行います。</p> <p>(4) 住民サービスの向上のための方策</p> <p>預託者に施設の存在を広く周知し、安全かつ有効に利用できるよう</p>

	<p>管理運営を行い、利用者が親しみやすい「ふれあい牧場」を目指します。</p> <p>(5) トラブルや苦情の未然防止と処理方法</p> <p>運営委員会や預託者会議等を開催し、トラブルや苦情等の発生を未然に防止することにより、運営の改善や問題解決を図ります。</p>																		
(3) 自主事業計画	令和8年度事業計画																		
	<table><tr><th>項目</th><th>内容</th><th>実施時期・回数</th></tr><tr><td>予防注射</td><td>アカバネ注射</td><td>5月</td></tr><tr><td>ピロ動薬</td><td>ピロプラズマ病</td><td>入牧時・月1回全頭</td></tr><tr><td>飼養衛生管理講習会</td><td></td><td>3か月に1回</td></tr><tr><td>ペルダック装着</td><td>サシバエ・ダニ対策</td><td>5月～10月</td></tr><tr><td>害虫駆除</td><td>ハエ・カ防除</td><td>7月～10月</td></tr></table>	項目	内容	実施時期・回数	予防注射	アカバネ注射	5月	ピロ動薬	ピロプラズマ病	入牧時・月1回全頭	飼養衛生管理講習会		3か月に1回	ペルダック装着	サシバエ・ダニ対策	5月～10月	害虫駆除	ハエ・カ防除	7月～10月
	項目	内容	実施時期・回数																
	予防注射	アカバネ注射	5月																
	ピロ動薬	ピロプラズマ病	入牧時・月1回全頭																
	飼養衛生管理講習会		3か月に1回																
	ペルダック装着	サシバエ・ダニ対策	5月～10月																
	害虫駆除	ハエ・カ防除	7月～10月																
	令和9年度以降事業計画																		
	<table><tr><th>項目</th><th>内容</th><th>実施時期・回数</th></tr><tr><td>予防注射</td><td>アカバネ注射</td><td>5月</td></tr><tr><td>ピロ動薬</td><td>ピロプラズマ病</td><td>入牧時・月1回全頭</td></tr><tr><td>飼養衛生管理講習会</td><td></td><td>3か月に1回</td></tr><tr><td>ペルダック装着</td><td>サシバエ・ダニ対策</td><td>5月～10月</td></tr><tr><td>害虫駆除</td><td>ハエ・カ防除</td><td>7月～10月</td></tr></table>	項目	内容	実施時期・回数	予防注射	アカバネ注射	5月	ピロ動薬	ピロプラズマ病	入牧時・月1回全頭	飼養衛生管理講習会		3か月に1回	ペルダック装着	サシバエ・ダニ対策	5月～10月	害虫駆除	ハエ・カ防除	7月～10月
	項目	内容	実施時期・回数																
	予防注射	アカバネ注射	5月																
	ピロ動薬	ピロプラズマ病	入牧時・月1回全頭																
	飼養衛生管理講習会		3か月に1回																
ペルダック装着	サシバエ・ダニ対策	5月～10月																	
害虫駆除	ハエ・カ防除	7月～10月																	
(4) 個人情報の保護のための方策	<p>ふれあい牧場の利用者の個人情報の管理に十分注意し、個人情報を外部に漏洩しない取り組みを行います。</p> <p>(1) 個人情報を扱う管理責任者を置いて、個人情報の適切な管理に努めます。</p> <p>(2) 利用者から提供された個人情報は、ふれあい牧場のサービスや情報提供及び運営にかかる正当な目的のためにのみ使用します。</p> <p>(3) 利用者から提供された個人情報は、ふれあい牧場の業務上正当な理由による場合を除き、第三者に提供しません。</p> <p>(4) 利用者に個人情報の提供を依頼する場合は、その使用目的や提供</p>																		

	<p>する第三者及び対応窓口を明確にしてお知らせします。</p> <p>(5) 利用者からの提供された個人情報を第三者に提供する場合は、特別の事情がない限り、契約等により第三者からの漏洩等の防止を図ります。</p> <p>(6) 利用者の個人情報の保護に関する法律、県、市条例を遵守します。</p>																					
(5) 来場者に対する安全管理等の危機管理対策	<p>(1) 防犯及び防災の対策</p> <p>ふれあい牧場の管理運営に当たり、利用者の安全第一を考え、防犯・防火計画を策定するなどして、安全管理に努めます。</p> <p>(2) 自然災害等が発生したときの対応</p> <p>災害時対応として迅速な情報の入手、的確な被害状況の把握と応急対応や速やかな南房総市及び関係機関への報告・連携のための確実な緊急時体制を確保します。</p>																					
(6) 地域振興を図るための方策	<p>運営委員会に地元区長が参画することにより、地域ニーズを的確に把握します。</p>																					
(7) 運営体制計画及び組織	<p>(1) 職員の配置</p> <p>ふれあい牧場の施設として責任者を配置し、学識経験者の導入により、管理運営に努めます。</p> <p>(2) 職員の人材育成方針</p> <p>人材育成のための研修等に積極的に参加や獣医師・酪農家等により、職員レベルの向上を図り意識レベルにつながる教育に努めます。</p> <p>職員を対象に3か月に1回のミーティングを行います。</p>																					
(8) 管理運営費計画	<table><tr><td colspan="2">(1) 収入計画 (税込み)</td><td>(円)</td></tr><tr><td>項 目</td><td>計 画</td><td>備 考</td></tr><tr><td>育成料</td><td>26,940,000</td><td>年間1,080頭 (月90頭)</td></tr><tr><td>施設管理費</td><td>600,000</td><td>入牧時1頭10,000円</td></tr><tr><td>入牧手数料</td><td>60,000</td><td>入牧時1頭1,000円</td></tr><tr><td>指定管理料</td><td>8,580,000</td><td></td></tr><tr><td>雑収入</td><td>0</td><td></td></tr></table>	(1) 収入計画 (税込み)		(円)	項 目	計 画	備 考	育成料	26,940,000	年間1,080頭 (月90頭)	施設管理費	600,000	入牧時1頭10,000円	入牧手数料	60,000	入牧時1頭1,000円	指定管理料	8,580,000		雑収入	0	
(1) 収入計画 (税込み)		(円)																				
項 目	計 画	備 考																				
育成料	26,940,000	年間1,080頭 (月90頭)																				
施設管理費	600,000	入牧時1頭10,000円																				
入牧手数料	60,000	入牧時1頭1,000円																				
指定管理料	8,580,000																					
雑収入	0																					

	収入計	36,180,000	
	(2) 支出計画 (税込み) (円)		
	項 目	計 画	備 考
	飼料代	21,200,000	配合、乾草他
	資材費	330,000	木工チップ
	人件費	11,400,000 (6,350,000)	牧場担当者 (嘱託職員含む)
	会議費	13,000	運営委員会・預託者会議・ミーティング会議
	消耗品費	140,000 (70,000)	石灰・番号札等
	修繕費	830,000 (830,000)	30 万円未満の軽微な修繕
	水道光熱費	720,000 (360,000)	水道・電気代
	管理費	750,000 (750,000)	車検・法定点検料・ネズミ駆除・堆肥施設使用料等
	保険料	70,000 (70,000)	自賠責・任意保険
	燃料費	300,000 (150,000)	2 トン車・ローダー等
	動薬費	260,000	ピロ動薬・ハエ・カ薬等
	雑費	167,000	
	支出計	36,180,000 (8,580,000)	
	※ () は指定管理料		
(9) その他	(1) 環境への配慮		
	ふん尿を適切に処理し、堆肥化により耕種農家等に販売し、有効活用を図ります。		
	(2) 運営委員会		
	ふれあい牧場の事業に関する事項を協議するため、ふれあい牧場運営委員会を設置します。委員は、次に掲げる 15 人以内で組織します。		
	① 千葉県みるく農業協同組合代表	4 人	
	② 酪農関係団体代表	5 人	
	③ 学識経験者	5 人	
	④ 地元区長	1 人	

	<p>委員の任期は3年とし、再任を妨げない。運営委員会規則は別に定めます。</p> <p>(3) 受託の承認等</p> <p>預託希望者は、入牧月の前月10日までに、預託申込書を千葉県みるく農業協同組合に提出しなければならない。</p> <p>① BVD-MD検査が陰性であるもの、6種混合ワクチンを接種してあるもの。</p> <p>② 6カ月齢で、徐角してあるもの。</p> <p>③ 入牧前に、コクシジウム対策としてバイコックスを投与してあるもの。</p> <p>④ 39.6度以上の発熱、下痢、風邪の症状、外傷、皮膚病などの症状がないもの。</p>
--	---

5 選定経過の概要

(1) 選定委員会開催日	<p>第1回：令和7年9月2日（火）</p> <p>第2回：令和7年10月16日（木）</p>
(2) 選定委員	<p>副市長、農林水産部長、総務部企画財政課長、総務部管財契約課長、商工観光部観光プロモーション課長、農林水産部地域資源再生課長、農業委員会事務局長、安房農業協同組合営農部畜産課長、千葉県畜産総合研究センター嶺岡乳牛研究所長</p>
(3) 選定の理由	<p>令和7年9月2日（火）に第1回指定管理者選定委員会を開催し、指定管理者の選定方法を「公募」とすることで決定しました。</p> <p>9月10日（水）に現地説明会を開催し、9月11日（木）から10月10日（金）までの期間で申請書類の提出を受け付けたところ、10月7日（火）付けで、「千葉県みるく農業協同組合」から、「公の施設に係る指定管理者指定申請書」が提出されました。</p> <p>10月16日（木）に第2回選定委員会を開催し、上記の</p>

	<p>1 者の事業計画の審査を行いました。その結果、合計平均点数が 6 0 点を超えた千葉県みるく農業協同組合を当施設の指定管理候補者として選定しました。</p>
--	---